



御殿場

Rotary Weekly Report

国際ロータリー第2620地区

ロータリークラブ

週報

今週の

ロータリークイズ

御殿場ロータリークラブの創立年月日は?

A: 1967年6月1日

B: 1967年7月1日

C: 1967年8月1日

先週のロータリークイズ

(第2620地区のクラブ数は?)の答え

Bの84クラブでした



- 例会 場/名鉄菜館
- 開会 点鐘/12:30
- 国歌 斉唱
- ロータリーソング/我らの生業
- 内容/5大奉仕委員長所信表明
社会・新世代・国際各委員長
- 会員 慶事
- ☆会員誕生日
8月7日 齋藤 保君

☆夫人誕生日

8月5日 臼井芳江様 (臼井良太君夫人)

★次回8月10日(1953回)の例会★

12:30点鐘 会員増強セミナーに 名鉄菜館
参加して

会長挨拶 土屋 閣正

昨日ようやく九州、四国地方に梅雨明け宣言がされました。

本年は、梅雨前線の猛威が続き、長野県や九州地方でも記録的な豪雨を観測、「平成18年7月豪雨」と命名されたように、日本列島に被害の爪痕が広がりました。

平年ならば九州地方は7月13日、関東甲信、東海地方は20日頃には梅雨明けですが、今年は大幅に遅れ、戦後3番目の遅い梅雨明けになる可能性があります。例年、この時期ににぎわうはずの海水浴場やプールは客足がさっぱり日照不足で農作物の生育遅れも懸念されます。

近年このように天候不順になるのは、地球温暖化、エルニーニョ現象が原因とも言われていますが、工業化、文明化が急速に進行した20世紀からのつけが異常気象という現象であらわれてきていることを真剣に受け止めなければいけないと思います。

異常気象とは異常高温、大雨、日照不足、冷夏などの通常とは異なる気象の総称を言いますが、このような異常気象があたりまえの地球であって欲しくないとします。

さて、先週は第1回クラブ協議会が開催されました。各委員長の皆様から活動計画及び予算が説明され、活発な意見交換がなされ、大変有意義な会合で良いスタートだったと思います。

創立40周年記念実行委員会が発足し、スタートいたしました。7月25日には第1回の実行委員会が開催され、早い時期に各部会で事業計画、予算を検討していただき、30周年、35周年に準じた会員全員参加でお願いしたいと思います。

また、CLPの研究グループも8月にはスタートする予定です。R I 及び地区ともよく調整し、慎重に取り組んでいただきたいと思いますので、会員の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

7月27日の出席報告

※やむを得ず欠席される方は、
午前10時までにご連絡下さい。

会員数	計算に用いる 会員数	出席者数	暫定出席率	前々回の 確定出席率
62名	60名	52名	86.67%	100%

- 欠席者(8名) 井上 元君・狩野住夫君・勝又敏樹君
大庭健一郎君・大森清治君・高村繁男君・戸栗太平洋君・山口幸男君

7月13日のメーキャップ

7月7日 裾野 生野 旭君 7月14日 裾野 齋藤 保君
7月7日 裾野 高村繁男君 7月19日 長 泉 狩野住夫君
7月12日 長 泉 豊山 篤君 7月19日 長 泉 勝又敏樹君
7月14日 裾野 齋藤 衛君

クラブ奉仕委員会

委員長 勝又重春君

＝クラブ奉仕：委員会活動の方針＝

クラブ奉仕はロータリー奉仕の基本です。

本年度活動計画の基本方針として、て、3つの項目をあげました。

1. ロータリー奉仕について、「ロータリーの綱領」「四つのテスト」に基づき、国際ロータリーあるいは第2620地区のテーマを理解し、クラブ奉仕の学習に努める。
2. 会員への奉仕、会員の資質向上に対する配慮、会員の広報活動の奨励を高め、クラブ奉仕に関連する委員会と連絡調整を図り、クラブの活力増進に努める。
3. 会員の融和と親睦を図り、楽しい魅力ある例会づくりに努める。

＝クラブ奉仕：その拠り所＝

クラブ奉仕の活動計画は、身近な拠り所として3つあります。

1. 御殿場ロータリークラブの歴代クラブ奉仕委員会の活動実績です。
2. R I 第2620地区、地区協議会におけるクラブ奉仕委員会の事業計画です。
3. 国際ロータリーの指針です。

＝クラブ奉仕：当年度の各種テーマ＝

クラブ奉仕について、当年度のリーダーが掲げるテーマです。

1. 御殿場ロータリークラブ会長は、「継続は力なり」をモットーにしています。
2. R I 第2620地区ガバナーは、「職業奉仕と親睦」を理念として掲げています。
3. 国際ロータリー会長は、「率先しよう」をR Iテーマとして信念を表しています。

＝クラブ奉仕：関連10委員会への望み＝

- A. 会員増強、会員選考、ロータリー情報、職業分類委員会**
・会員増強は退会防止も含め、クラブが存続する限り永遠のテーマです。新会員を発掘し、的確性を調べ、ロータリアンとして確固たる認識に立ち実践できるよう情報し、地域社会に認知される職業人となるよう支援しましょう。
- B. 雑誌広報 IT、出席、プログラム委員会**
・新鮮なクラブホームページの開示、100%出席率の継続意識を保つ。そのためには、魅力と意義ある例会プログラムに期待します。
- C. クラブ会報、親睦活動、文献委員会**
・意義あるロータリー事業の広報活動が推奨され、文献は情報と記録を管理し提供します。親睦活動は、会員相互理解と円滑なクラブ運営のための潤滑油として重要な役割をもっています。



職業奉仕委員会

委員長 水口正宏君



本年度井上ガバナーは、「率先しようー職業奉仕と親睦をー」を地区のテーマとして掲げました。ロータリーを最もロータリーたらしめているのが職業奉仕で、ロータリーの

すべての奉仕活動は、職業奉仕から生れ、職業奉仕に裏付けられ、実践されるものだと言っています。また、ロータリーの最も大事な領域であり、原点でもあり、人生哲学だともよくいわれます。

まず、奉仕の意味を手近な辞書で調べてみると、端的にいうと報酬を度外視して国家・社会・人のために尽くすこととある。serviceはそれよりはるかに広義であり、他のもののためになる行為であり、もし奉仕の意味を前者のように理解すれば職業奉仕は有り得ないことになるわけで、それゆえに職業奉仕は一般に理解しにくいものといわれます。あるパストガバナーの講演で、Vocational Serviceは、職業奉仕というよりは「職業倫理の育成」と考えるほうが理解しやすいのではないかといいましたが、まことに適切な訳し方だと感心した次第です。

日本にも「天職」という言葉があるように、職業は本来神から与えられたものという概念が欧米の人々にはあるようだし、ロータリーにも背中合わせに神が存在しているようだが、日本のロータリーにはそれがなく、現代の日本人の職業観の中には神とのかかわりあいほとんどない。

職業奉仕の原点になっている「四つのテスト」にしても「神仏に誓って…」という前書きがついて、はじめて真剣なテストになるのではなかろうか。

「あの人はロータリアンだから信用できるし、取り引きしても大丈夫」というところまで我々を高める日常の積み重ね、これが職業奉仕のような気がします。そのような心のありかた（倫理観）に必要性を、地域社会の職業人に広めていくことをもって、活動の基本とします。

[具体的活動については、活動計画書のとおり]

幹事報告 勝又博文君

★理事会報告

1. 第1回理事会議事録を確認。
2. 8月例会プログラムについて(プログラム委員会) 8月17日(木)例会を「開催時間12:30より」と



- 修正し、承認する。
3. 第1回クラブ協議会について 原案通り承認する。 7月20日例会終了後に開催 今年度の活動計画の説明と質疑応答を行う。
 4. 「富士山一斉清掃」について(社会奉仕委員会) 参加することを承認する。詳細は後日発表する。 開催日時 8月20日(日) 午前9時30分より
 5. 節食例会について 9月より、原則として2ヶ月に1回実施する。
 6. 創立40周年記念例会実行委員会について(創立40周年記念例会実行委員会) 実行委員会の組織編成表を承認する。
 7. その他
 - (1) クラブ内に「クラブリーダーシッププラン(CLP)」の研究、検討のための研究グループをつくることを、理事会にて検討する。
 - (2) 第3回理事会開催日 8月10日(木)11:40より 名鉄菜館1階ロビー



雑誌広報IT委員長
渡辺 巖君



社会奉仕委員長
勝又敏雄君



皆出席
嶋田泉太郎君



お誕生日おめでとう
渡辺 巖君



御殿場

第2620地区

ロータリークラブ

○例会日/木曜日
○例会場・事務局/YMCA東山荘
静岡県御殿場市東山1052
電話/0550-83-1133 FAX/0550-83-1138
http://www.gotemba-rc.gr.jp/

○会 長/土屋 闔正
○幹 事/勝又 博文
○会報委員長/齊藤 礼志

